リーベンス2型
LIXIL フリーポールタイプ・間仕切りタイプ 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

●フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転倒防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。

注意

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

注意

●現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
●柱と本体ジョイント部の間隔は200mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。
●柱埋込み時には水抜き穴を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。
●柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。

＜基礎工事について＞

⚠ 注 意

●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

■梱包明細書

【1】フリーポール本体セット

名　称	略　図	員　数
フリーポール本体		1

【2】間仕切り本体セット

名　称	略　図	員　数
間仕切り本体		1

【3】フリーポールセット

名　称	略　図	員　数
フリーポール		1
上桟取付ブラケット		1
上桟取付ブラケット座金		1
下桟取付ブラケット		1
上桟用直継手		1
下桟用直継手		1
【3-1】M6×90六角ボルト		1
【3-2】M6平座金		2
【3-3】M6バネ座金		2
【3-4】M6×12トラス小ネジ		1
【3-5】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8		4

【4】間仕切り主柱セット

名　称	略　図	員　数
間仕切り主柱		1
【4-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8		4

【5】間仕切り端柱セット

名　称	略　図	員　数
間仕切り端柱		1
【5-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8		2
取付説明書	―	1

【6】間仕切り90°角柱

名　称	略　図	員　数
間仕切り90°角柱		1
【6-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8		4

【7】エンドキャップセット

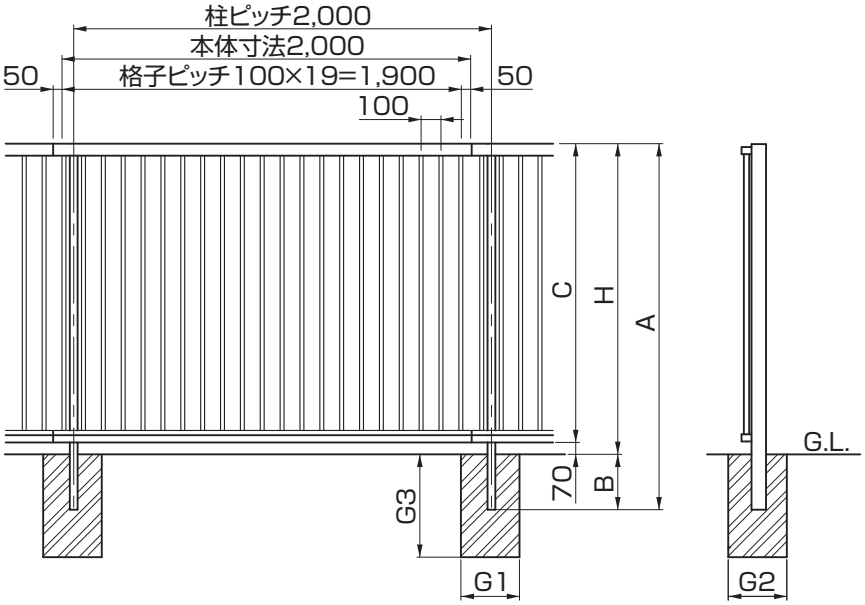
名　称	略　図	員　数
上桟キャップ		2
下桟キャップ		2
【7-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8		4
取付説明書	―	1

【8】自在コーナー継手

名　称	略　図	員　数
上桟用自在コーナー継手		1
下桟用自在コーナー継手		1
【8-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8		4

1. 基本寸法図および施工図

1-1 フリーポールタイプ



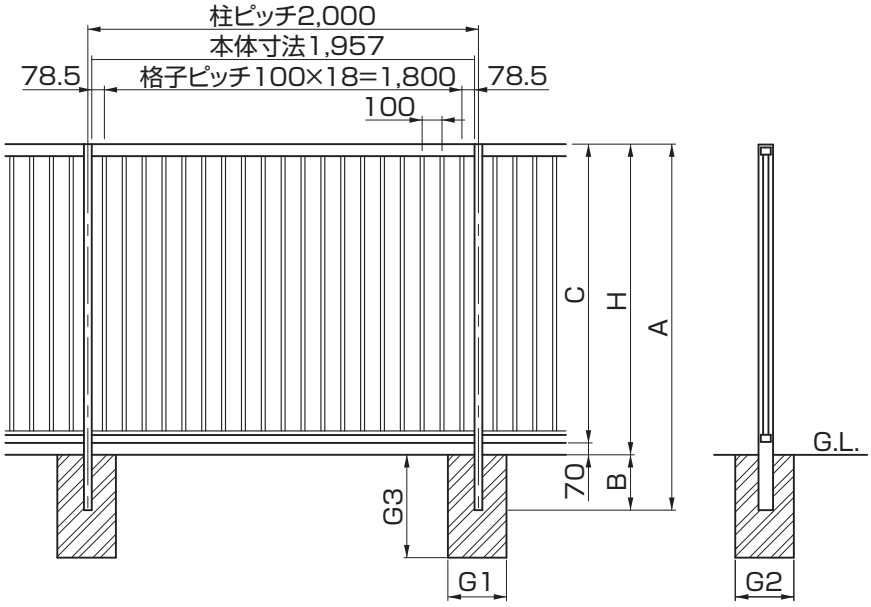
	H	C	B	A	標準基礎寸法		
					G1	G2	G3
H800	800	730	200	1000	200	200	450
H1000	1000	930	200	1200	200	200	450
H1200	1200	1130	250	1450	200	200	450
H1500	1500	1430	300	1800	250	250	500
H1800	1800	1730	300	2100	300	300	500

補 足

●基礎は長期地耐力を100KN/m²と仮定したときの寸法です。

1. 基本寸法図および施工図

1-2 間仕切りタイプ



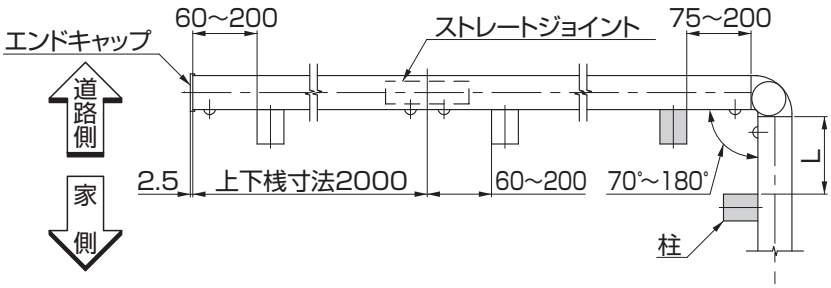
	H	C	B	A	標準基礎寸法		
					G1	G2	G3
H800	800	730	200	1000	200	200	450
H1000	1000	930	200	1200	200	200	450
H1200	1200	1130	250	1450	200	200	450
H1500	1500	1430	300	1800	250	250	500
H1800	1800	1730	300	2100	300	300	500

補 足

●基礎は長期地耐力を100KN/m²と仮定したときの寸法です。

2. 端部・コーナー部の柱位置

2-1 フリーポールタイプ



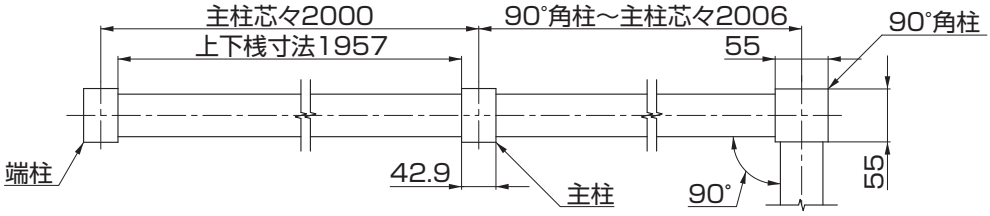
注 意

●コーナー部には風が集中するため必ず柱を2本建てて施工してください。

補 足

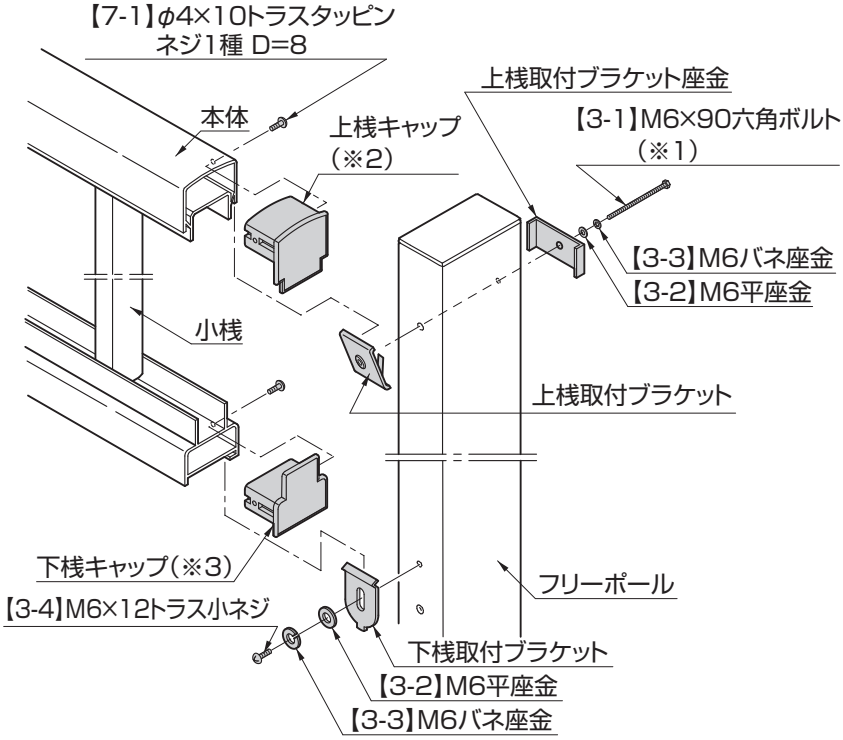
●コーナー部に建てる2本の柱は、基礎どうしが干渉しないようL寸法を350mm以内で調整して施工してください。

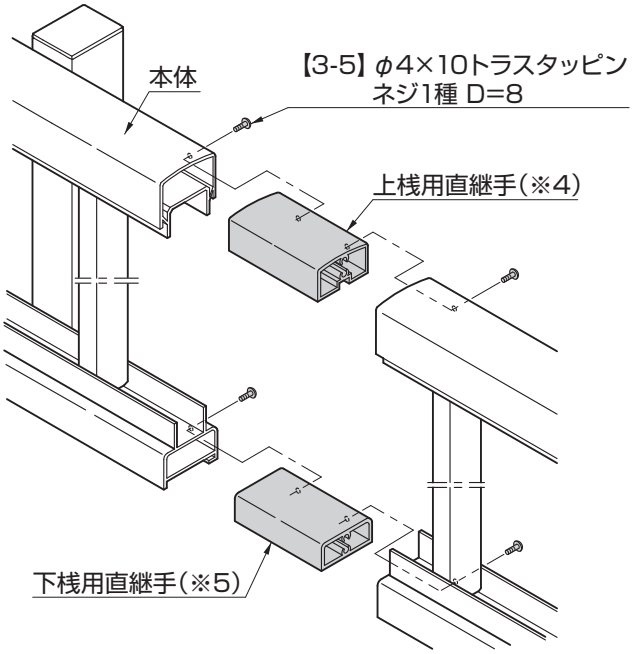
2-2 間仕切りタイプ



3. 本体の取付け

3-1 フリーポールタイプ





ポイント

- 柱ピッチは、「1.基本寸法図および施工図」、「2.端部・コーナー部の柱位置」の表記にしたがってください。
- 本体を取付けるときは、【3-1】の先が小桟と干渉しないよう、本体の位置を調整してください。(※1)

①上桟取付ブラケットを上桟取付ブラケット座金および【3-1】、【3-2】、【3-3】で仮固定してください。

②本体の上桟を上桟取付ブラケットに引っ掛けてください。

③本体下桟を下桟取付ブラケットと【3-2】、【3-3】、【3-4】で取付けてください。

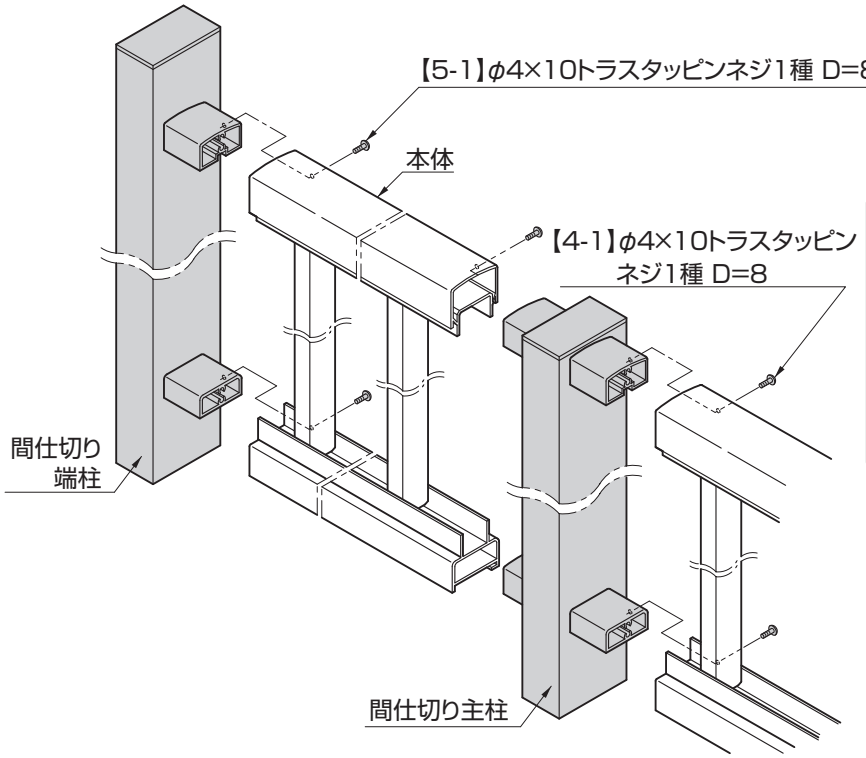
④すべてのボルト、ネジをしっかりと締付けてください。

⑤本体の端部には上桟キャップ(※2)、下桟キャップ(※3)を【7-1】で取付けてください。

⑥本体どうしの連結には上桟用直継手(※4)、下桟用直継手(※5)を【3-5】で取付けてください。

3. つづき

3-2 間仕切りタイプ



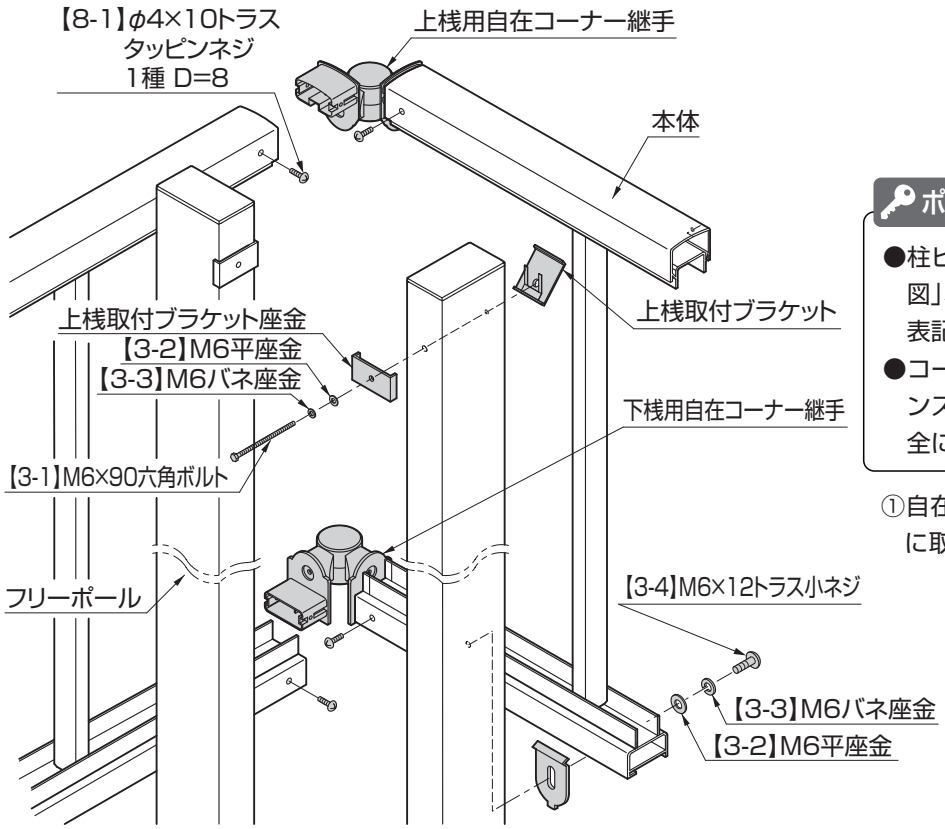
ポイント

- 柱ピッチは、「1.基本寸法図および施工図」、「2.端部・コーナー部の柱位置」の表記にしたがってください。
- 柱の基礎への固定はフェンス本体を取付けた後、モルタルで完全に固定するようにしてください。

①上下桟を主柱には【4-1】で、端柱には【5-1】で取付けてください。

4. コーナー部の取付け

4-1 フリーポールタイプ



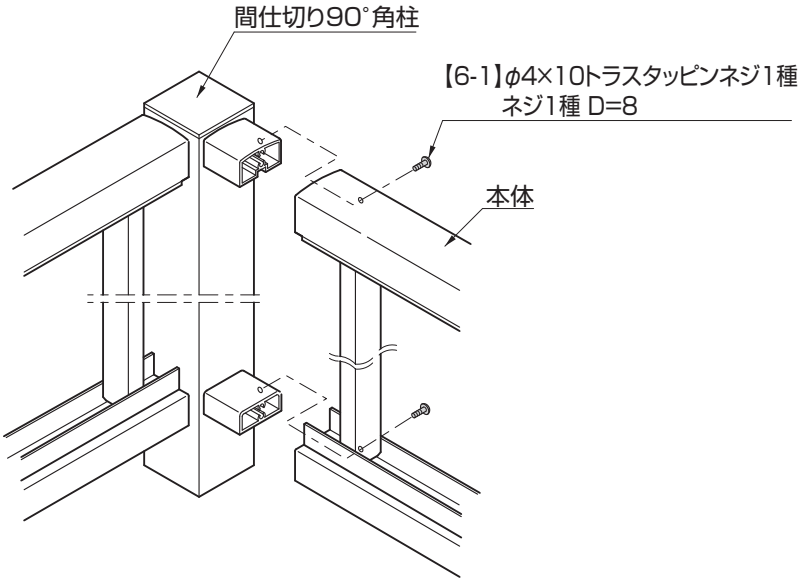
コーナー	出隅	入隅
	70°~180°	70°~180°
傾斜	0°~45°	

ポイント

- 柱ピッチは、「1.基本寸法図および施工図」、「2.端部・コーナー部の柱位置」の表記にしたがってください。
- コーナー部の柱の基礎への固定はフェンス本体を取付けた後、モルタルで完全に固定するようにしてください。

①自在コーナー継手は、【8-1】で上下桟に取付けてください。

4-2 間仕切り柱タイプ



ポイント

- 柱ピッチは、「1.基本寸法図および施工図」、「2.端部・コーナー部の柱位置」の表記にしたがってください。
- 柱の基礎への固定はフェンス本体を取付けた後、モルタルで完全に固定するようにしてください。

①上下桟を【6-1】で間仕切り90°角柱に取付けてください。

取説コード
C048
BZS575216E
91-03A
202101I_1049